



第52期決算報告と今後の展望

〈決算説明会資料〉

一部数値の訂正をいたしました(2011年8月)

P4「業績概要」及びP10「業績予想」の当期純利益(H23/3及び差)を訂正しました

— 本資料の内容について —

本資料は、平成23年5月26日(木)に行なわれました、証券アナリスト向け当社第52期決算説明会の際に使用した資料のダイジェスト版です。

【お願い】

当資料中の昭文社の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた昭文社の経営者の判断に基づいております。実際の業績は、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。従いまして、これらの業績見通しのみにも全面的に依拠して投資判断することは控えられるようお願い致します。

会社概要 1 ~ 2

決算報告 3 ~ 8

業績予想 9 ~ 14

今後の事業方針 15 ~ 22

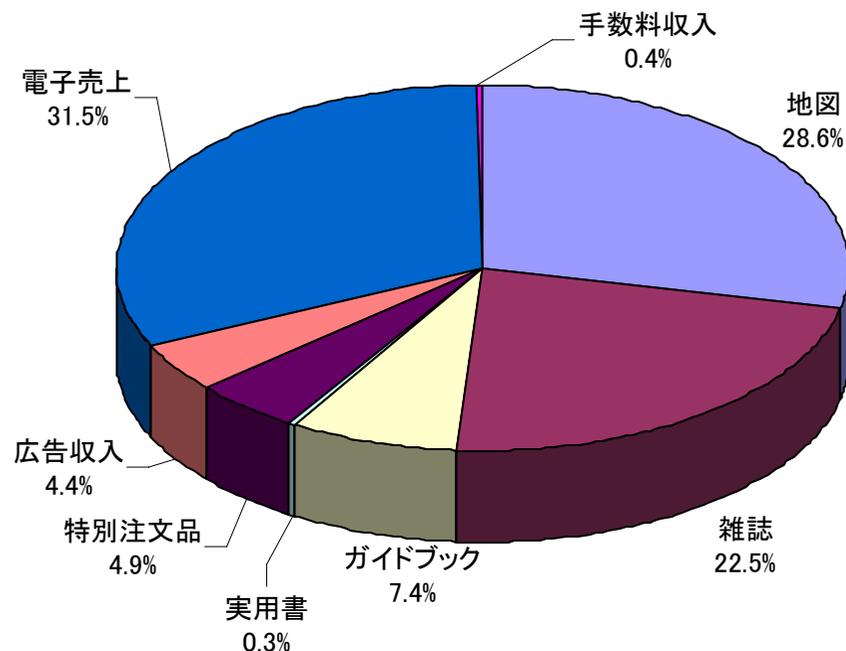
会社概要

当社概要

(2011年3月末現在)

- 会社設立 1960年(昭和35年)5月
- 本社 東京都千代田区麹町3-1
- 資本金 9,903,870千円
- 決算 3月
- 社員数 408名
- 発行済株式数 17,307,750株
- 単元株式数 100株
- 株主数 20,314名
- 事業内容 SiMAPを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売を行う「出版事業」、ならびにデジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスを提供する「電子事業」を展開

売上構成<連結>



子会社

(2011年3月末現在)

株式会社昭文社デジタルソリューション(SDS)

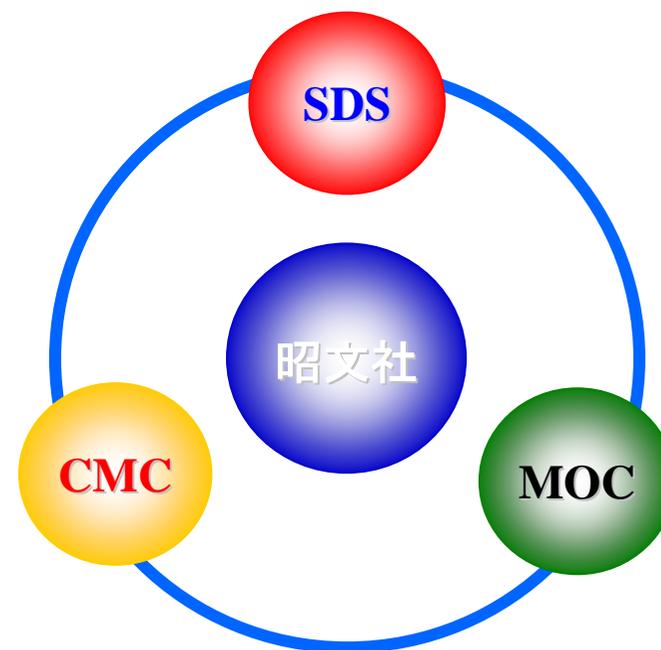
- 設立 1983年(昭和58年)10月
- 本社 千葉県市原市五井3926-1
- 資本金 458,850千円
- 事業内容 マッピング・Webサービス事業
及びシステムソリューション事業

株式会社マッフル・オン(MOC)(旧:株式会社リビット)

- 設立 2006年(平成18年)7月
- 本社 東京都中央区日本橋浜町3-42-3
- 資本金 80,000千円
- 事業内容 モバイル(携帯電話、スマートフォン)向け
アプリケーションソフトの企画開発・販売
及びWeb広告事業

キャンバスマッフル株式会社(CMC)

- 設立 2006年(平成18年)9月
- 本社 東京都中央区日本橋浜町3-42-3
- 資本金 450,000千円
- 事業内容 ナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・
企画制作・販売



決算報告

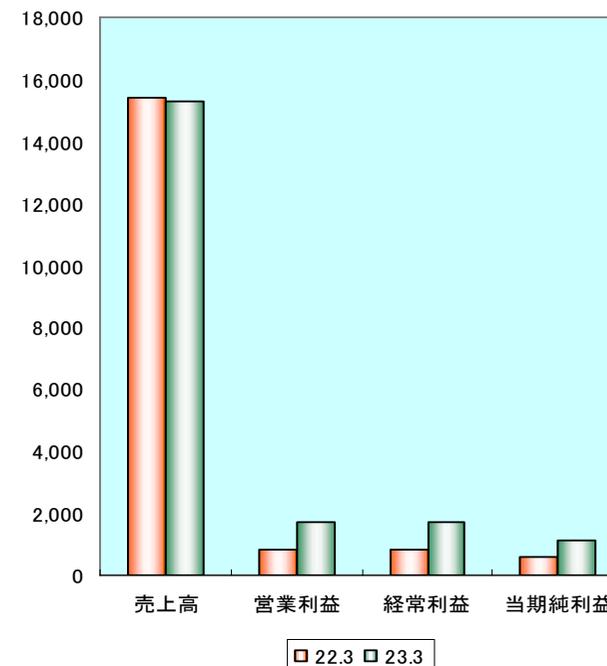
前年同期比・・・減収増益

計画比・・・・・・・・売上未達成も利益は上回る

売上原価の大幅削減

<単位:百万円>

	H22/3	H23/3	差	計画
売上高	15,390	15,285	-104	15,570
営業利益	808	1,694	885	850
経常利益	814	1,718	904	860
当期純利益	597	1,021	424	650

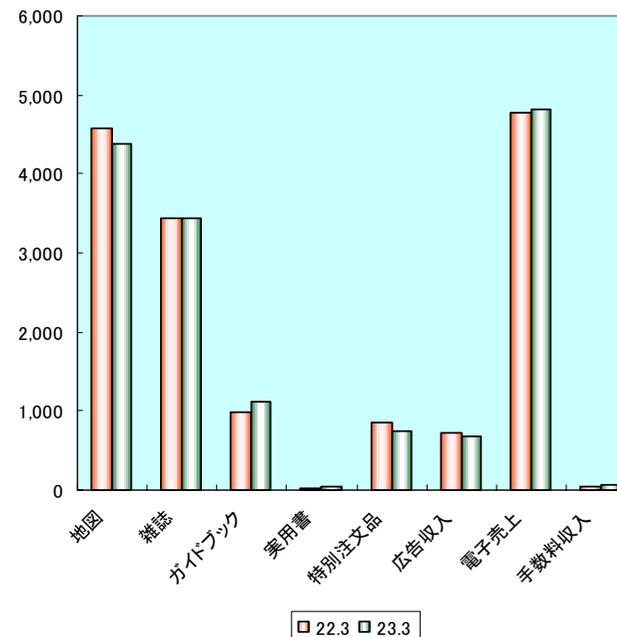


- ・ナビゲーション事業の拡大
- ・市販出版物が前年同水準の売上を確保
- ・退職金制度変更にともなう、退職給付費用負担軽減
- ・制作工程及びDBメンテナンス方法見直しによるコスト削減
- ・特別損失として、災害損失3億64百万円
投資有価証券評価損2億22百万円を計上

分類別売上高

<単位:百万円>

	H22/3	H23/3	差	計画
地図	4,572	4,375	-197	4,090
雑誌	3,431	3,437	6	3,370
ガイドブック	976	1,125	149	1,390
実用書	14	43	29	30
市販出版物計	8,994	8,983	-11	8,880
特別注文品	850	747	-103	900
広告収入	718	675	-43	830
電子売上	4,771	4,824	52	4,900
手数料収入	54	55	1	60
合計	15,390	15,285	-104	15,570

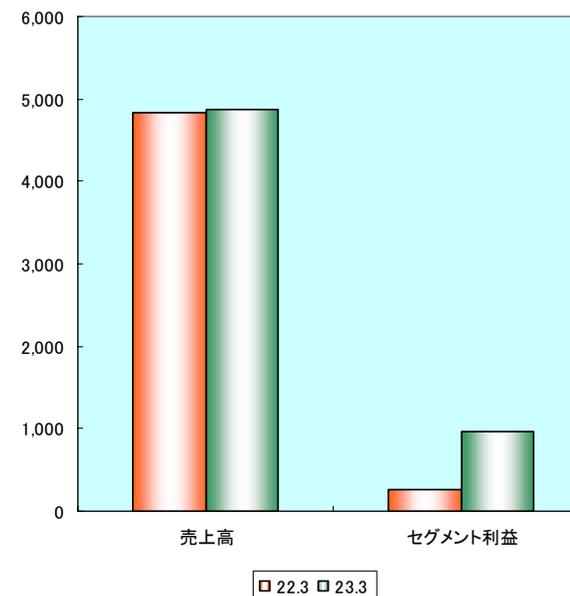


- ・市販出版物:売上減少傾向続くも、当期は前年同水準を確保
- ・特別注文品:震災の影響により期末納品ができなかったこともあり減収
- ・広告収入:紙媒体からWebへの移行による影響により減収
- ・電子売上:ナビゲーション事業及びGIS事業が堅調に推移

<単位:百万円>

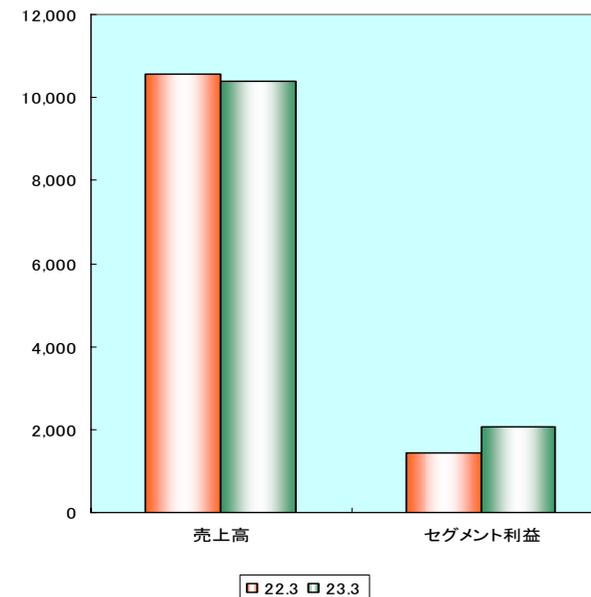
	H22/3	H23/3	差	計画
売上高 外部顧客	4,825	4,879	53	4,960
セグメント間内部	41	82	41	30
合計	4,866	4,962	95	4,990
セグメント利益	253	962	708	410

- ナビゲーション市場でのPNDによる売上拡大
- ガイド情報コンテンツが多くのカーナビメーカーに採用
- GIS事業において企業向けのコンテンツ提供が順調に推移
- 利益率の高いコンテンツ提供の売上が増加
- 制作工程・メンテナンス方法の見直しによるコスト削減
- Web関連費用の縮小



<単位:百万円>

	H22/3	H23/3	差	計画
売上高 外部顧客	10,564	10,406	-158	10,610
セグメント間内部	0	10	9	0
合計	10,564	10,416	-148	10,610
セグメント利益	1,438	2,053	615	1,760



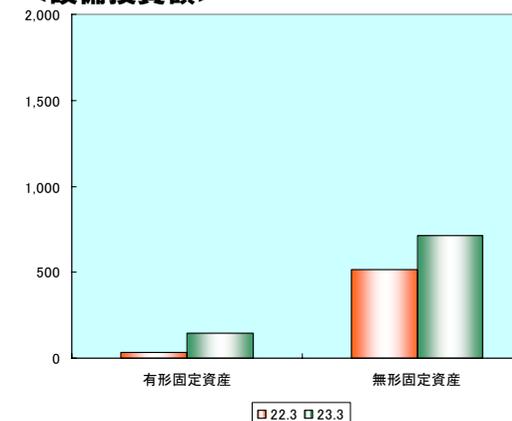
- ・市販出版物においては前年同水準の売上を確保
- ・「工場見学 首都圏版」が21万部(3月末)の大ヒット
- ・広告収入及び特別注文品において、前年売上実績が下回る
- ・制作工程の見直しによるコスト削減
- ・返品減少による原価削減効果で利益増加
- ・退職金制度変更による人件費の削減

<単位:百万円>

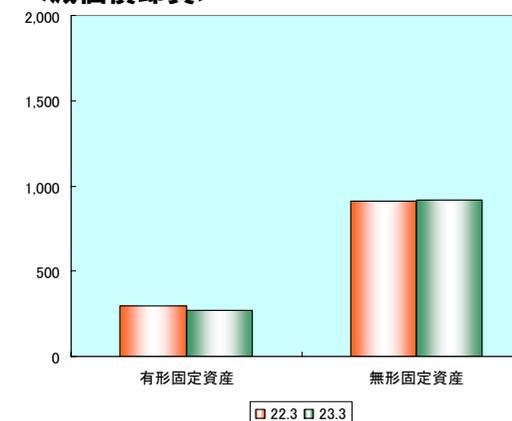
		H22/3	H23/3	差	計画
設備投資	有形固定資産	33	143	109	170
	無形固定資産	514	713	199	900
	合計	547	856	309	1,070
減価償却費	有形固定資産	296	271	-25	280
	無形固定資産	913	919	6	940
	合計	1,209	1,190	-18	1,220

- 電子事業発展のための投資を継続実施
- データベースの強化
- 新デバイスへの対応及び新サービス提供のためのアプリケーション開発を実施

<設備投資額>



<減価償却費>



業績予想

前年同期比・・・減収減益

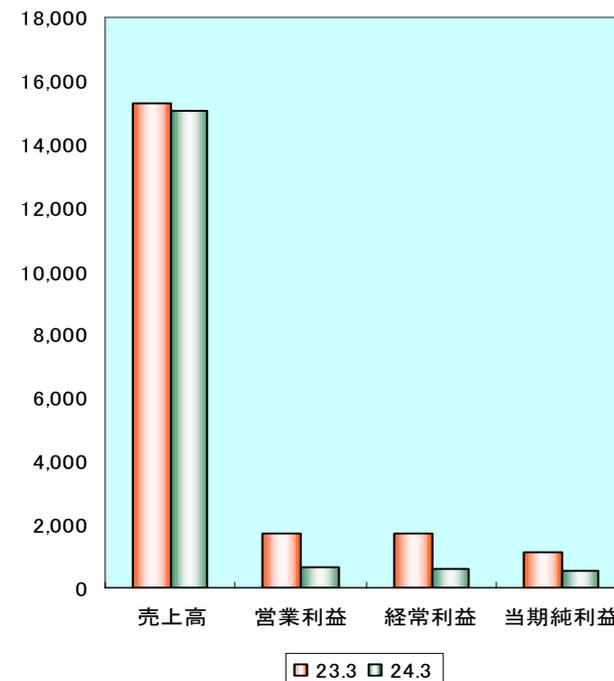
東日本大震災の影響により売上減少

電子事業拡大のための開発コストを計上

<単位:百万円>

	H23/3	H24/3(予)	差
売上高	15,285	15,070	-215
営業利益	1,694	640	-1,054
経常利益	1,718	590	-1,128
当期純利益	1,021	510	-511

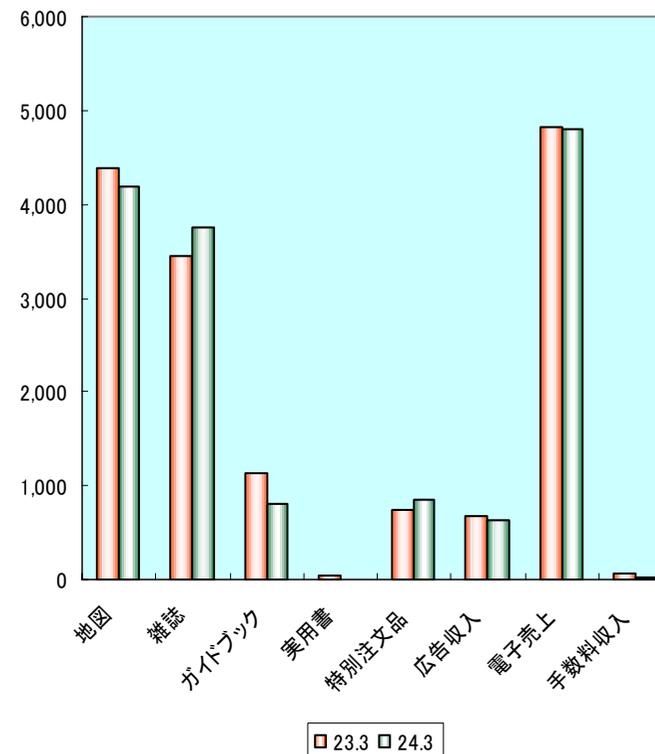
- 東日本大震災の影響により、売上高が減少見込
- 出版事業における、返品が増加見込
- 電子事業拡大のための開発コストの計上



分類別売上高予想

<単位:百万円>

	H23/3	H24/3(予)	差
地図	4,375	4,180	-195
雑誌	3,437	3,750	312
ガイドブック	1,125	810	-315
実用書	43	10	-33
市販出版物計	8,983	8,750	-233
特別注文品	747	860	112
広告収入	675	640	-35
電子売上	4,824	4,800	-24
手数料収入	55	20	-35
合計	15,285	15,070	-215

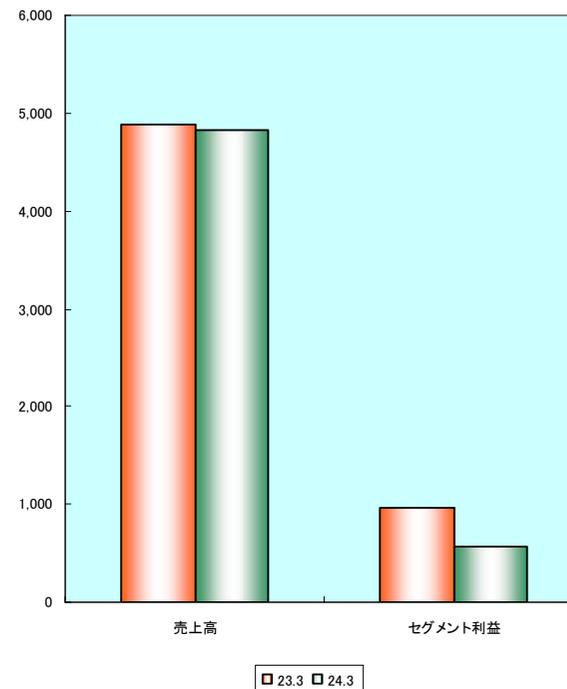


- ・東日本大震災の影響により、売上高が減少見込
- ・雑誌においては、新シリーズ出版の予定があり増加見込

<単位:百万円>

	H23/3	H24/3(予)	差
売上高 外部顧客	4,879	4,820	-59
セグメント間内部	82	0	-82
合計	4,962	4,820	-142
セグメント利益	962	560	-402

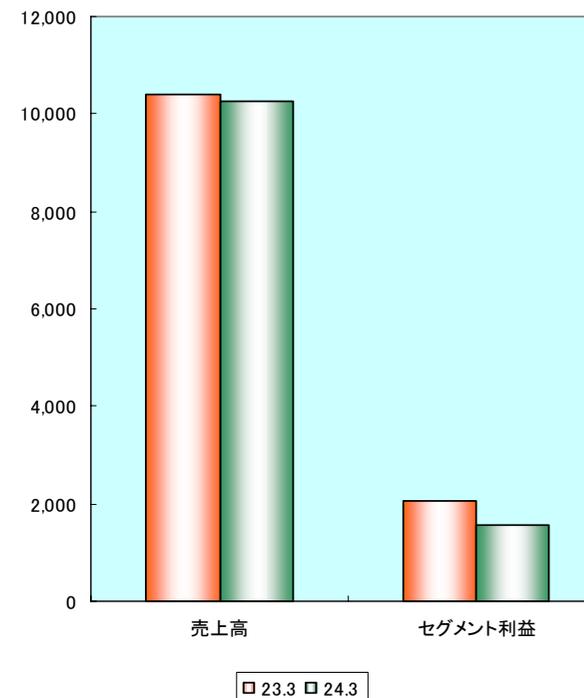
- ・グループ各社の力を集結
- ・PND市場での売上拡大
- ・新デバイス(スマートフォン、タブレット端末)への対応
- ・新サービスの提供
- ・アプリケーション開発



<単位:百万円>

	H23/3	H24/3(予)	差
売上高 外部顧客	10,406	10,250	-156
セグメント間内部	10	0	-10
合計	10,416	10,250	-166
セグメント利益	2,053	1,570	-483

- 東日本大震災の影響により、売上減少見込
- 不採算商品・非効率商品の中止
- 制作工程の見直し



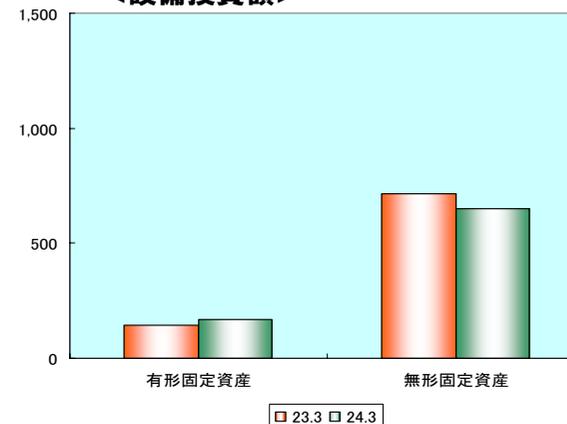
設備投資・減価償却予想

<単位:百万円>

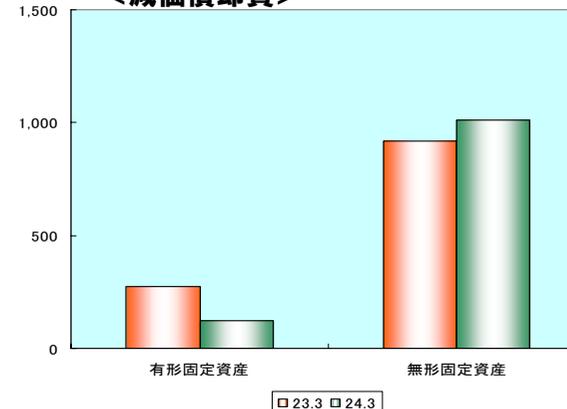
		H23/3	H24/3(予)	差
設備投資	有形固定資産	143	170	26
	無形固定資産	713	650	-63
	合計	856	820	-36
減価償却費	有形固定資産	271	120	-151
	無形固定資産	919	1,010	90
	合計	1,190	1,130	-60

- 電子事業発展のための投資を継続
- データベースの強化及びシステム開発の実施
- 投資の増加に伴い、減価償却負担も増加

<設備投資額>



<減価償却費>



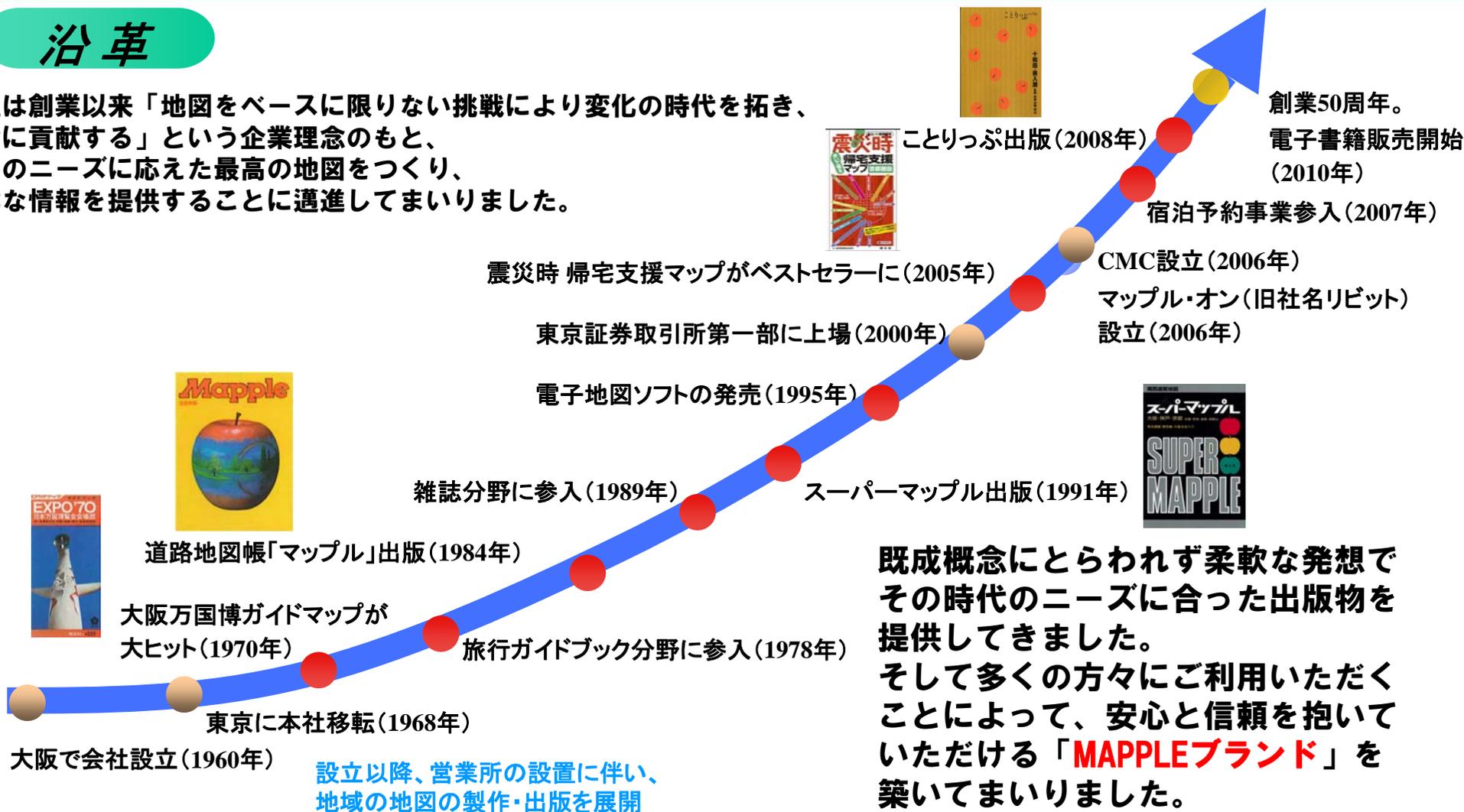
今後の事業方針

これまでの歩み・・・創業50周年の振り返り



沿革

当社は創業以来「地図をベースに限りない挑戦により変化の時代を拓き、社会に貢献する」という企業理念のもと、顧客のニーズに応えた最高の地図をつくり、新鮮な情報を提供することに邁進してまいりました。



既成概念にとらわれず柔軟な発想でその時代のニーズに合った出版物を提供してきました。そして多くの方々にご利用いただくことによって、安心と信頼を抱いていただける「**MAPPLEブランド**」を築いてまいりました。

新たな50年の始まり 出版社から**情報提供会社**への変革の実践

本当に価値のある**特選情報**の提供



あらゆる媒体への**情報提供**の積極的な展開

従来の正確で新鮮な地理情報の提供に加え
“本当に価値のある”**特選情報**の提供を実践



- 人々が行動する際には、常にそこに「**MAPPLE**」がある。
- 多くの人々に安心と信頼を持ってご利用いただける商品、サービスの開発に積極的に取り組む。

多種多様なメディアの特性を生かした、 利便性の高い商品の開発



お客様一人ひとりのニーズに対応した、
最適な方法とタイミングによる情報サービスの実現

電子事業

- PND市場でのさらなる売上拡大
- 成長市場であるスマートフォンなどの新たなデバイスへの積極対応
- アプリケーション開発と新サービスの提供

出版事業

- 利益の最大化
- 商品構成の見直し
- 制作工程、販売体制の見直し

「ことりっぷ」電子書籍販売

App Storeの「旅行カテゴリ」の
無料アプリランキングでは1位を獲得

- 当社初の電子書籍（iPhone、iPad向け）
- 自社開発・制作によるオリジナルアプリ
- 平成22年12月発売開始、現在（5月26日時点）では15点のラインナップ



「工場見学」ガイド発売

首都圏版：オリコン週間“本”ランキング
旅行ガイド部門第1位獲得

- 生産ライン見学から夜景ツアーまで掲載

3点出版

- 首都圏版
- 京阪神版
- 東海・北陸版



旅行、観光を事業基盤としている当社におきましては、被災地の復興支援が重要な課題であると認識し、「ふたたび、旅人の行き交う街へ。」の活動スローガンのもと、グループ一丸で支援に取り組んでまいります。

復興支援の具体的な取り組み

- 特に大きな被害を受けた太平洋沿岸地域の「都市地図」9点を3月25日に緊急出版
- 避難所情報を掲載した「被災地支援サイト」を3月中に開設
- 岩手、宮城、福島、茨城各県の災害対策本部へ当社地図の無償提供実施
- 東日本大震災 復興支援地図を発行（災害対策窓口は無償提供）



東日本大震災復興支援地図



